

带状疱疹

患者様情報

来院されるまでの症状

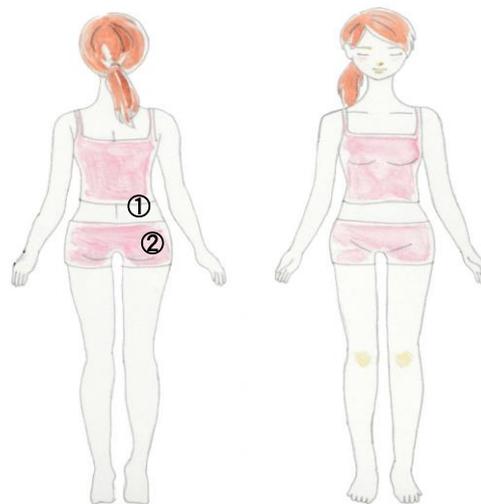
- ・2009年から来院していただいている患者様になります。現在も月に1度メンテナンスのため来院しています。
 - ・2020年10月右腰から右側腹部にかけて違和感があり、湿疹とピリピリとした感覚があると連絡がきました。病院で带状疱疹と診断されたそうです。
- そこからすぐに来院してもらい、治療を開始しました。

患者様	60代 女性
初診	2009年12月
既往症	坐骨神経痛、不安神経症、更年期障害(ホットフラッシュ)
他の症状	腰痛、冷え性、足のむくみ

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・右の腰から側腹部にかけて、一側性の湿疹が出ていました。これは典型的な带状疱疹だと診立てました。
- ・切経してみると、右の脊際の際に違和感がありました。お話を聞いてみると、数日前から右腰に痛みがあったとのことでした。
- ・右の腰椎2, 3番の際と腰椎4, 5番の際を鍼でしっかりと緩め、「志室」「臀圧」に深めの鍼を施しました。



使用した主要なツボ

- ①志室（シシツ） ②臀圧（デンアツ）

■ 初診後の経過

- ・2日おきに治療をして、3回目には湿疹が落ち着いてきました。
- ・ピリピリとした感じも10日後には落ち着いてきたそうです。
- ・その後は特に違和感はないとのことで、月に1回のメンテナンスに戻して治療を継続しています。

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・带状疱疹は誰でもなりうる、厄介な疾患です。発症後、期間が空くと痒みや神経痛が残ることもあります。実際に患者様で带状疱疹の後遺症でお悩みの方も多く診ています。
- ・発症後は速やかに病院で診断を受けることをおすすめいたします。鍼灸は早期改善と予後の治療には最適です。ご相談ください。